

2024年3月28日
株式会社ベジテック

㈱神明ホールディングスとの資本業務提携について

～ エア・ウォーター、デリカフーズ HD を含む 4 社連合体、米・青果流通加工プラットフォームを強化 ～

当社は、日本の農業・青果流通がさまざまな課題を抱える中、青果流通加工プラットフォームの強化を通じて、生産者と消費者の視点に立った持続可能な農業モデルの構築を目指しています。

その実現に向け、当社は株式会社神明ホールディングス(代表取締役社長:藤尾 益雄、以下「神明ホールディングス」と)と2024年3月22日付で資本業務提携契約を締結し、神明ホールディングスから5%の出資を受け入れたことをご知らせいたします。

記

1. 経緯・目的

当社は、祖業である仲卸事業に加えて、時代とともに変化するライフスタイル・消費者ニーズに対応したカットサラダやミールキットなどを手掛ける加工製造事業、1/2 や 1/4 サイズなど消費者が手に取りやすい形へ加工するプロセスセンター事業を展開する、産地と食卓をつなぐ青果物の専門商社です。自社の検査機関である理化学分析センターでは、国際規格である ISO/IEC17025 (残留農薬分析・放射能分析・栄養分析・微生物分析)を取得し、産地から食卓までの安全・安心をサポートしています。

世界的な食料情勢の変化や地球環境問題への対応が求められる中、我が国では食料・農業・農村基本法の改正が今国会で審議されるなど、食料の安定供給と持続可能な農業を目指す方針が打ち出されています。生産面では高齢化等による担い手の減少、耕作放棄地の増加といった構造的な課題を抱えるとともに、消費者ニーズと供給のミスマッチも生じています。物流面では「物流2024年問題」に伴い、農産品の輸送能力が2030年までに32.5%も不足するという試算もあります(NX総合研究所調べ)。

こうした中、当社は「ヒトと地球の、未来を耕す」という企業スローガンのもと、生産者が安心して農業に従事ができ、消費者が安心して青果物を消費できる青果流通ビジネスの拡大と青果流通加工プラットフォーム構築のため、2023年2月より、エア・ウォーター株式会社(以下「エア・ウォーター」)、デリカフーズホールディングス株式会社(以下「デリカフーズホールディングス」と)との3社協業に取り組んできました。本協業を通じた原料調達機能の強化、加工・物流・販売における相互のリソース

活用などにより、3社間での取引拡大につなげるとともに、安定供給体制の構築や地域農業の振興にも寄与しています。

このたびの資本業務提携により、国内米卸最大手の㈱神明や東京シティ青果㈱、東果大阪㈱などの青果卸を傘下に持つ神明ホールディングスが協業体制に加わることで、4社の青果取扱量は業界最大規模の年間約90万トン(国内青果出荷量の7%)、売上高は合計7,000億円と国内最大規模の連合体となります。神明ホールディングスの参画に伴い、当社は同社の保有するインフラの共活用、もやし・米を用いた簡便商品、付加価値商品の開発、同社のB to C販路を活用した商材の拡販などにおいて協業を推進していきます。

また、国内最大規模の4社連合を通じて、青果の安定供給体制を整備し、米・青果流通加工プラットフォームを強化していくことで、脱炭素も含めた持続可能な農業モデルを構築し、日本の農業・青果流通が抱える課題の解決につなげていきます。

2. 神明ホールディングスとの協業について

当社および神明ホールディングス、エア・ウォーター、デリカフーズホールディングスの4社は、米や青果の生産から販売までのサプライチェーンの中で、互いの調達・加工・販売・物流機能を活用することで持続可能な国内農業の発展に寄与するとともに、産地と食卓をつなぐ米・青果流通加工プラットフォームの強化を目指していきます。

<具体的な協業内容>

- ① 国内外における4社の契約農家および調達ルートを活用した原料調達
- ② 米を含む農産物、カット野菜・加熱野菜・冷凍野菜など農産加工品の相互販売、ならびに小売・ECチャネル・外食・中食産業を中心とした取引先の開拓・拡大
- ③ 4社の物流ネットワークおよび拠点・施設を活用した米・青果流通事業
- ④ 鮮度保持・食品加工技術等の共同開発および加工センターの共同運営と新加工センターの設立
- ⑤ 成分分析データを活用した米・青果の付加価値向上およびブランド化

3. 神明ホールディングスについて

神明ホールディングスは、国内米卸最大手の㈱神明を中心に、無菌包装米飯事業、米穀輸出事業、青果卸売事業、外食事業、茸・もやしの生産販売事業、物流事業を行うグループ企業を有する純粋持株会社です。同社グループは生産地から食卓をつなぐ「アグリフードバリューチェーン構築」を掲げ、川上・川中・川下の各方面への事業領域を拡大しています。加えて、和食文化を海外ユーザーへ発信することにより、米の輸出を軸とした海外展開と日本産の農産物の輸出拡大を促進し、日本の農業の活性化に取り組んでいます。

(1)株式会社神明ホールディングス 概要

設 立: 1950 年

本 社 所 在 地: 兵庫県神戸市中央区栄町通 6-1-21

代 表 者: 代表取締役社長 藤尾 益雄

資 本 金: 1億円(2023 年 3 月末時点)

事 業 内 容: グループ全体の経営企画、経営管理及びそれに付帯又は関連する業務

従 業 員 数: 単体 38 名、連結 10,753 名(2023 年3月末現在)

売 上 高: 4,069 億円(2023 年3月期連結)

(2)神明ホールディングスとの資本業務提携について

取得前の所有当社株式数:0株(当社への出資比率:0.0%)

取得当社株式数:266,000 株

取得後の所有当社株式数:266,000 株(当社への出資比率:5%)

スケジュール:契約締結日 2024 年3月 22 日、払込期日 2024 年3月29日(予定)

※取得価額については、株式取得先との協議により非公開といたします。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ベジテック

E-mail:Press_5192@vegetech.co.jp

TEL:044-789-5192